The Lepidopterological Society of Japan

Heliophobus texturatus (ALPHERAKY)

フジシロミャクヨトウ（新称）日本に産す

杉 繁 郎[1)]

Discovery of *Heliophobus texturatus* (ALPHERAKY) from Japan (Noctuidae)

By SHIGERO SUGI

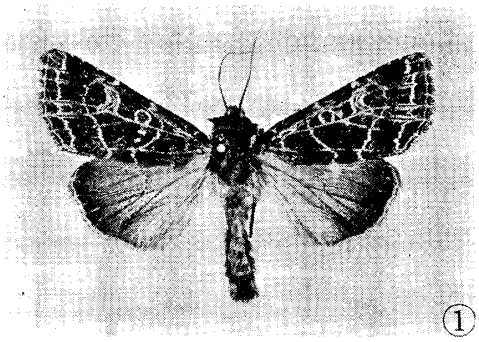
1962年夏富士山の中腹五合目で，全く見知らぬかなり大型のヨトウが早稲田大学生物同好会の佐久間俊昭氏によって採集された．標本は2頭とも♀であったが，翌1963年には再び同一の地点で♂を含む4頭の標本が採集された．私は同会 OB の神保一義氏の御好意で，これらの標本の一部を頂き，同定することができたので，ここに写真を示してさらに多くの新産地が発見されることを期待したい．神保一義，佐久間俊昭両氏のご助力に対し深く感謝の意を述べておく．

Heliophobus texturatus (ALPHERAKY) フジシロミャクヨトウ（新称）

Mamestra texturata ALPHERAKY, 1892, Horae Soc. ent. Ross. **26** : 446 ; id. in ROMANOFF, Mém. sur Lép. **9** : 14, pl. 3 : 2.

Hadena texturata : HAMPSON, 1905, Cat. Lep. Phal. B. M. **5** : 213 ; WARREN, 1910, in SEITZ, Macrolep. World, **3** : 79, pl. 19 g ; DRAUDT, 1950, Mitt. Münch. ent. Ges. **40** : 37.

開張 37–40mm，♂の触角は単純で微毛状．頭頂は黒褐色，白色をわずかに混ずる．頸板は黒褐色で，後縁はわずかに白色でふちどられる．胸背は黒褐色であるが，肩板の内側前半にはやや顕著な白色鱗片を帯状につらねている．腹部は灰褐色で，強く暗色におおわれる．前翅地色は，ほぼ一様に黒褐色で，各横線及び紋はうすい黄白色である．内横線は亜前縁の淡色斑に発して内方へ彎曲し，中室の下方ではゆるやかな弧をなして第1脈に達し第1脈の下で小さく外彎する．環状紋は顕著な白色環を作り，腎状紋は中央部でく字状に内方に曲り，黄白



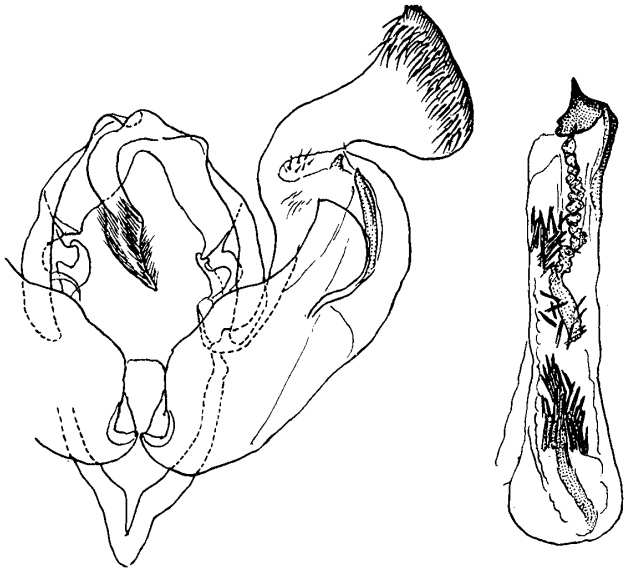


Fig. 1. *Heliophobus texturatus* (ALPHERAKY) ♂. Mt. Fuji, Japan.
Fig. 2. Male genitalia of *Heliophobus texturatus* (ALPHERAKY).

1) 東京都大田区大森北4丁目 14–12

NII-Electronic Library Service

The Lepidopterological Society of Japan

色で縁どられ，中心には淡色の細線がある．翅脉は亜外縁部，腎状紋の外縁と外横線の間及び外横線と亜外縁線の間を除いて，多少とも黄白色を呈する．外横線は亜外縁部の淡色斑から発して第3脉付近まで外彎し，以下ほぼ直線状で斜に後縁に達する．亜外縁線は第7脉で小さく曲がり，第3及び4脉上で外方にやや鋭く突出してW字状を呈する．亜外縁線の内側には第2－5室に小黒影があり，特に第3室のものは黄白色鱗片で囲まれる．外縁には各小室内に黒色の半月状点を連ねる．縁毛は暗灰褐色で，基部に淡褐色の細線を走らせる．後翅は暗灰褐色，翅脉はやや暗色を帯び，外縁部はやや暗色を呈する．縁毛は基部に黄色の細条を現し，暗灰色にふちどられる．端部は淡色である．横脉紋及び横線はみとめられない．

雄交尾器（Fig.2）は念のためここに図示したが，その形態はヨーロッパに産する属の模式種 ***Heliophobus reticulatus*** (Göze) のそれときわめてよく似ていて，両種がごく近縁であることを示している．

得られた標本：富士山，河口湖口五合目，芙蓉荘（約2400m），2♀♀，17–18. VII. 1962；1♂3♀♀，13–14. VII. 1963（佐久間俊昭採集）．1♂1♀を私が所蔵する．採集地点は山梨県側に属し，ほとんど森林限界に近い．

Heliophobus texturatus (Alpheraky) は，チベットから記載された蛾で，その後中国の西南部山地ではかなり採集されている．またこの蛾は30年ほど前にヨーロッパの東部（ハンガリー，オーストリア）でも見出され，ごく最近では，ドイツ，スイス，フランスにわたるアルプスの周辺地帯で多数の標本が得られており，その分布が注目されている．日本の ***Heliophobus*** はこれで2種となるが，混同されるようなことはまずあり得ない．このような未知の大型の蛾が富士山に限って見出されるのは全く奇妙なことで，今後新産地がどこに現れるか興味深い問題である．富士山周辺の蛾は案外盲点となっていて，特筆されるものは本種以外にほとんど知られないが，ただ ***Cucullia mandschuriae*** Oberthür ダイセンセダカモクメのような珍品が，静岡県側の山麓帯で再度採れたことが注目すべき一例となっている．

Summary

Several specimens of *Heliophobus texturatus* (Alpheraky) were captured by Mr. T. Sakuma, Tokyo, at the elevation of about 2400m on Mt. Fuji in summer of the years 1962 and 1963. This is the first discovery of this interesting moth from Japan. The data as follows : 2♀♀, Fuyô-sô lodge, 17–18 July 1962 (T. Sakuma); 1♂ 3♀♀, the same place, 13–14 July 1963 (T. Sakuma); one male and one female are in my collection and others in the cabinets of Mr. K. Jimbo and the collector. A male moth and its genitalia are illustrated above.

ナカスジシロエダシャク信州に産す

宮　田　渡[1)]

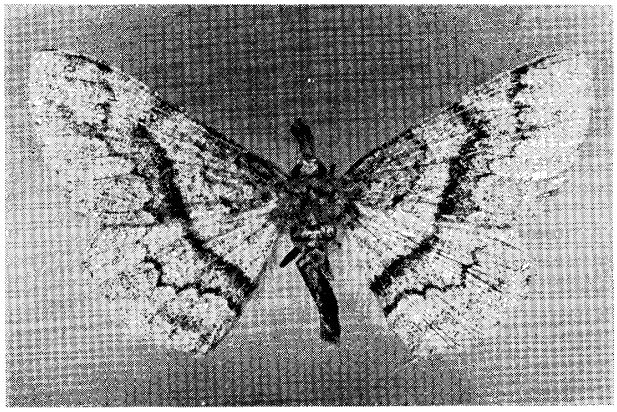
Cleora nigrofasciaria (Leech) in Nagano Pref.

By Wataru Miyata

1962年5月，長野県白馬村の標高800m付近の地点で夜間採集により本種を得た．前翅長20mm，前翅の脈に沿う外横線を横切る黒色線がやや弱い個体である．井上寛博士のご教示によると，東京都コマバ，岐阜市，新潟県，伊豆の三宅島などに産するが，少ないとのことである．ご教示下さった井上博士に深謝する．

採集地　長野県北安曇郡白馬村大字神域字沢渡

採集日　1962年5月7日（1♂）



1）長野県西筑摩郡福島町　長野県木曽東高等学校

NII-Electronic Library Service